



▲フィナーレの打ち上げ花火とライトアップイルミネーション。

大盛況「かさい 夏っ彩 夢フェスタ」

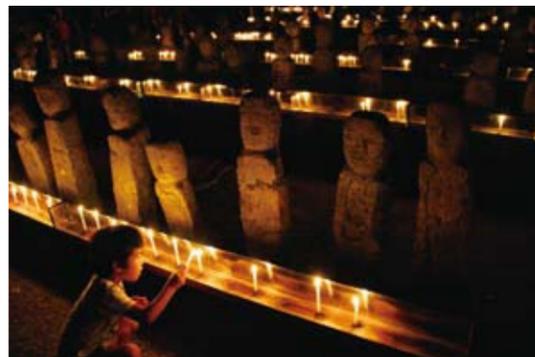
今年で3回目の開催となる加西市の夏祭り「かさい 夏っ彩 夢フェスタ」が8月7日、兵庫県立フラワーセンターで開催され、約29,000人の来場者で賑わいました。約40組が踊り等を披露したステージイベントの他、ご当地グルメコーナーが設置され、播磨地域のB級グルメや気仙沼ホルモンなどに長蛇の列ができました。フィナーレの5,380発の打ち上げ花火には、観客から大きな歓声や拍手があがりました。

ライスピザに親子で挑戦

地産地消を広めようと、加西市農村女性組織連絡協議会（吉田美津代会長）が主催する親子料理教室が7月26日、南部公民館で開かれ、親子8組21人がライスピザ作りに挑戦しました。ライスピザは、めん棒でたたいて薄く伸ばしたご飯の生地に、具をトッピングしたものです。食材は、チーズとベーコン以外すべて市内産。参加者は、「地元のお米や野菜で作れるなんて」と焼きあがったピザをほおぼっていました。



▲お米やトマト、たまねぎなど加西の食材をたっぷり使用。



▲約千本のろうそくを灯して先祖を供養。

五百羅漢「千灯会」

羅漢寺（北条町）で8月8日、先祖供養として約千本のろうそくを灯す「千灯会」（五百羅漢保存委員会主催）が開かれ、夕方から多くの参拝客が訪れました。「千灯会」は毎年、羅漢寺の本尊である薬師如来の縁日のこの日に開催。400数体の石仏を照らすろうそくの灯りが幻想的な雰囲気気を漂わせました。また、尺八や琴の演奏が幽玄の世界を演出しました。

全日本大会でベスト8に北播リトルシニア

上田聖君（加西中3年）と亀山龍之介君（泉中3年）が所属する兵庫北播リトルシニアが、第5回全日本中学野球選手権大会ジャイアンツカップに出場しました。この大会は、読売巨人軍や日本野球連盟などが主催し、中学生の硬式野球日本一を決定するものです。8月8日から12日にかけて東京ドームなどで行われ、兵庫北播は1、2回戦を突破してベスト8に入りました。



▲甲子園には5番打者で出場。



▲左から亀山君と上田君。出場前の7/25に市長を表敬訪問。

加西中出身の小嶋選手が甲子園出場

京都府代表として甲子園出場した、龍谷大学付属平安高校野球部の主将は、加西市出身の小嶋恭介選手（3年生）。小学校では九会野球スポーツ少年団で活躍し、中学校時代に所属した兵庫北播リトルシニアで本格的に硬式野球を始めました。第93回全国高校野球選手権大会では、1回戦（8月10日）で富山の新湊高校に1対4で敗れたものの「震災で野球ができない人がいる中、野球ができることに感謝して、精一杯頑張りました。今後も野球を続けたい」とさわやかに笑顔で語ってくれました。

毎年恒例、かぶと虫と列車の旅

北条鉄道で7月23・24日の2日間、「かぶと虫列車」が計8便運行し、親子連れら382人が列車での小旅行を楽しみました。車内の天井を木の小枝や葉で飾り、鳥の鳴く音も流す特別車両で、片道13.6キロメートルある北条町駅と粟生駅間を往復。乗車した子ども達は、プレゼントされたかぶと虫を手で大満足の様子でした。



▲子ども達にはかぶと虫のつがいをプレゼント。



▲お湯にドライアイスを入れると煙が大量発生。講師は小学校教諭の小松一博先生。

もくもくドライアイスのわくわく科学実験

夏休み企画の科学実験教室が8月5日、オーカタウン加西（鴨谷町）で開催され、市内の小学3～6年生28人が挑戦しました。ドライアイスをお湯の中に入れて、大量の煙を発生させたり、ジュースを混ぜてシャーベットを作ったりして、たくさんの不思議を体験。実験を通し児童らは、その正体が二酸化炭素で、もくもくと発生した煙は小さな水滴であることを学びました。

北条高校生が一日看護師体験

医療職を目指す北条高校2年生9人が8月2日、インターンシップ制度を利用して市立加西病院で一日職場体験をしました。看護師の指導のもと、入院患者の体を拭いたり、昼食を配膳したり、また、シーツの敷き方や車イスの移動の仕方も学びました。生徒は「仕事は思ったより大変でしたが、患者さんからの感謝の言葉がとてもうれしかった」と、将来の職業イメージをつかむ有意義な一日となりました。



▲看護師からシーツの敷き方を教わる生徒たち。



▲戦闘機「紫電改」6分の1（全長1.5m、幅2m）の模型を展示。

貴重な戦争史料を展示。「鶉野飛行場」展

鶉野平和祈念の碑苑保存会が企画する「鶉野飛行場」展が8月の1か月間、市役所1階ロビーで開催されました。戦争の悲惨さを伝えるため、同保存会が毎年催し今年で14回目を迎えました。特攻隊員の写真と遺書、また、戦争末期に「紫電改」が旧国鉄北条線（現北条鉄道）に不時着して起きた列車事故などの貴重な史料約100点を展示。身近にある戦争遺跡「鶉野飛行場」を知ること、平和の大切さを改めて感じる企画展となりました。

熱闘「真夏の雪合戦」

グリーンスポーツ広場アクアスカさい（西上野町）で7月31日、加西商工会議所主催による「真夏の雪合戦」が開催されました。6回目を迎えた今大会には、大阪や姫路など県内外から計35チーム、約350人が参加。大人も子どもも全力でプレーし、熱戦が繰り広げられました。優勝チームは次の通り。
■ジュニアの部 北条野球スポーツ少年団A（代表：北野道弘）
■レディースの部 PASSION'S II（代表：松末智香）
■一般の部 チームポロシャツ（代表：小芦 薫）



▲1チーム7人、全員に玉を当てるか、敵陣の旗を取れば勝ち。